

庄内米に負けない米作りに挑戦!



▲苗植え

「水の量はこのぐらいかな?」

「品種によって、収穫量は変わるんじゃないかな」、「ビニルハウスの中でつくれば、たくさん米がとれると思うよ」、「植える本数を増やせばいいんじゃないかな」など、グループごとに計画を立てました。

そして、いよいよ5月22日、農業試験場の先生方に来校していただき、土づくりから苗植えまでを行いました。土を直に触る経験も久しぶりで、子供たちも楽しく活動することができました。10cmあまりの小さな苗からどのぐらいの米がとれるのだろう、子供たちの期待と不安が高まります。水をたっぷりいれ、教室のベランダに並べました。5年生のベランダは立派な水田のようです。

観察を続けていくと、いろいろなことに気がつきました。「先生、品種によって葉の色が違うよ」、「水がすぐになくなってしまふよ。たくさん水をすっているんだね」、「1本しか植えなかったのは、背丈は伸びているけど、なんとなく弱々しいな」など。夏休み前には、丈が50cmをこえるほどに生長しました。夏休み中は、ベランダから校舎の玄関前に引っ越しをし、1日も休まず水やりをしました。

夏休み中の苦労のかがあって、2学期が始まった頃には穂が出てきました。そして、いよいよ収穫です。その一粒のもみをとってみると、白い米が顔を出しました。子供たちは大喜びです。庄内米には及びませんでしたが、自分たちで米を作ることができた喜びを味わうことができました。

この体験を通して、植物が生長し結実するまでの様子や、農家の人の苦労について学ぶことができました。そればかりでなく、自分たちが毎日食べている食料について考えるきっかけになったようです。

(レポート:5年3組担任 嶋 忠夫)

「こんなにたくさんのお米ができたよ」

秋の収穫 ▶

